



体育通信

令和8年5月21日
一之江小学校
校長 平川 惣一
体育主任 加藤 駿

“子供たちがつくる”運動会へ ～これからの時代を生きる力を育むために～

若葉の緑がまぶしく感じられる季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の体育的行事へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。体育主任を務めております加藤です。

運動会まであと数日となりました。今年の運動会のテーマは、「子供たちがつくる運動会」です。

社会は大きく変化しています。AIやテクノロジーが発展するこれからの時代を生きる子供たちには、正解を教わるだけではなく、自分で考え、仲間と協力しながら、新しい価値を生み出していく力が求められています。学校教育でも、「主体的・対話的で深い学び」が重視されています。

そこで今年の表現種目では、教師が全てを決め、一斉に同じ動きをするだけではなく、子供たち自身が考えたり、友達と相談したりしながら、演技をつくり上げる場面を大切にしてきました。もちろん、動きをそろえる美しさや、一体感も運動会の魅力の一つです。しかし、それだけではなく、「自分はどの表現をしたいか」「どうすればもっとこの演目がよくなるか」を考えながら取り組む過程そのものにも、大きな価値があると考えています。

このお便りでは各学年の表現活動の見どころや、練習の中で子供たちが工夫したことなどを紹介しています。本番までの子供たちの努力や成長を感じながら、ご覧いただければ幸いです。

1年生「わくわく一之江動物ランド」

1年生は、動物をテーマにした表現に取り組んでいます。「いのししのおにごっこ」「ぞうの水遊び」など、動物と場面が書かれたボードを見ながら、子供たちが思い思いに体を動かして表現します。練習中には、笑顔いっぱい動き回る姿が多く見られたとのこと。入退場にも注目です。「ベイベーシャーク」や「とっこハム太郎」の曲に合わせ、最後まで“動物づくし”の世界観で会場を盛り上げます。子供たちが自由に動物を表現する姿も注目です。

2年生「にんじゃダンス

～ボール・フープ・なわとびのじゅつ～

2年生は、“にんじゃ”をテーマにした表現に取り組んでいます。子供たちから人気の「ナルトダンス」も取り入れながら、ボール・フープ・縄跳びを使った運動遊びを行います。扱う用具は自分たちで選びました。「もっと難しい技をやってみよう」「友達と一緒にやろう」と自分で考えながら練習する姿が印象的でした。「簡単な技 → 精神統一 → 難しい技」という流れの中で、技を披露するので、注目してください。自分たちで作った手裏剣鉢巻きで、忍者になりきって表現します。

3年生「青嵐炎舞」

3年生は、夏祭りをテーマに、扇子を使った表現に取り組んでいます。楽曲は、「鬼滅の刃」「ONE PIECE」「犬夜叉」のテーマソング。子供たちの希望をもとに選曲しました。また、「鬼滅の刃」の曲では、子供たちが考えた振り付けを多く取り入れています。「この振り付け、どうですか？」と、自分で動画を見せながら提案してくれる姿も見られました。初めて扱う扇子に苦戦する様子もありますが、動きを揃える部分と、一人一人が考えた決めポーズとのメリハリにも注目です！



4年生「わっしょい日本！高知から東京へ ～伝統のバトン～」

4年生は、社会科の都道府県の学習とも関連させながら、高知県の「よっちょれ」と、東京の「YES YES EBISU」に取り組めます。「よっちょれ」では鳴子を使って踊ります。実行委員がめあてや振り返りを話したり、ダンスリーダーが練習を進めたりするなど、子供たち自身が運動会をつくる姿が見られています。さらに、「よっちょれ」の中盤では、グループごとに考えたオリジナルの動きを取り入れており、それぞれのグループの個性が表れています。2つの民謡のリレーお楽しみください！



5年生「一之江ソーラン 2026」

5年生は、「ソーラン節もやりたい」「創作ダンスにも挑戦したい」という子どもたちの思いをもとに、二部構成の表現に取り組めます。前半は、「和」をテーマにした創作ダンスに挑戦。太鼓のリズムに合わせて、子どもたち自身が考えた動きを取り入れているそうです。振り付けにはクラス毎の雰囲気の違いが反映されています。また、練習では教師が細かく指示を出すだけでなく、「今の課題は何だろう？」「もっと良くするにはどうしたらいいだろう？」と、自分たちで課題を見付け、改善していきました。伝統の南中ソーランと、クラスカラーが出ている創作ダンスのコントラストに注目です！

6年生「祭りだ！エイサーおどろうぜ！」

「これまでの6年生がやっていないことに挑戦したい」という子どもたちの思いから、「エイサー」に取り組むことになりました。教師はその時間のめあてやゴールを共有するだけに止め、実際の練習はダンスリーダーが中心となって進めました。中には、リーダーがテスト形式で練習を行うグループもあり、子どもたちなりに工夫しながら活動しました。また、「完璧に揃えること」だけを目指すのではなく、「みんなで楽しみながらつくり上げること」も大切にしてきました。ウェーブや隊形は子どもたちのアイデアでつくりあげました。迫力ある太鼓の音色にも注目です。6年間の集大成をぜひご覧ください！